



Japan Society of Civil Engineers

International Activities Center

国際センター通信(No.114)

糾える縄の如く

「禍福は糾える縄の如し」の諺に従えば、コロナ禍のもたらした福はさしずめオンライン化の急激な進展であろう。国際センターは禍福両面で大きな影響を受けたが、ここでは福の側面のご報告をさせて頂きたい。

当会創立 100 周年を機に、中国土木工程学会 (CCES) との交流を新たに、2016 年に JSCE と CCES のジョイントシンポジウムをスタートした。以降、隔年で CCES と JSCE が交代でホストを務め、本シンポジウムを開催した。3 回目となる 2021 年は、日中の水工学、河川工学、海岸工学分野の専門家が集まり、最先端の研究課題についてオンラインで議論を行った。さらに、今夏、日本、中国、ドイツ、アメリカ他で発生した洪水災害の報告も行い、情報共有を行った。参加者は日中にとどまらず、世界的な関心を反映して第三国の参加者も多く見られ、オンライン開催により海外会員の参加を促した。



田中 仁 (土木学会
国際センター長)



第 3 回 JSCE-CCES ジョイントシンポジウム

また、先日はベトナム分会とのオンライン会合に参加する機会があり、各種技術基準、示方書の英訳の要望など海外分会が求める具合的なリクエストを伺った。これに関連し、近年、私自身が関わった土木学会出版書籍の翻訳について紹介したい。

近年のベトナムにおいては各地で海岸侵食が顕在化しており、土砂浚渫やダム堆砂などの影響が指摘され、我が国の専門家により総合土砂管理の必要性が強調されている。一方、ベトナムにおいて海岸工



ベトナム語版「海岸工学用語集」

学は比較的新しい学問であるため、この分野における専門用語の不統一が見られ、一部で混乱が生じていた。そこで、「海岸工学用語集」が土木学会から発刊されていることをベトナム人研究者に紹介し、そのベトナム語翻訳を強く働きかけた。その結果、当会の承認の後、2019年から翻訳に着手し、2021年12月に発刊に到った。本書は無償でベトナム国内の研究者、技術者に配布されている。同様な翻訳により、当会の出版物が海外においても大きな貢献を果たすことを期待したい。

【記：田中 仁 国際センター長（東北大学 総長特命教授）】

第9回 留学生向け企業説明会 (オンライン)

国際センター・留学生グループでは、2013年から日本で学ぶ留学生を対象に日本の土木系企業の事業、海外プロジェクト、採用などの情報提供を目的に企業説明会を実施している。これまで東京にて毎年、関西圏にて隔年で開催している。9回目となる今回は、国際センター・外国人技術者グループ、コンサルタント委員会 グローバルシビルエンジニア研究小委員会と共催で2021年12月11日（土）に開催した。コロナ禍の状況を鑑み、昨年度に引き続きオンライン形式にて実施した。

当日は全国各大学から留学生80名が参加した。オンライン形式のため、今年も地方在住の留学生が参加した。参加企業は昨年度よりも増え、今回は16社が参加した。参加企業は以下の通りである。

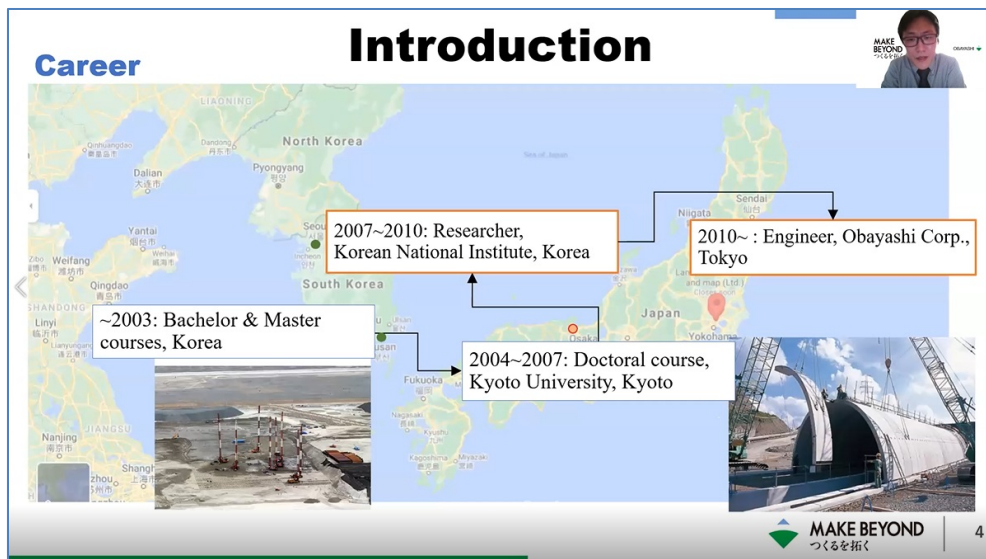


党 紀
(国際センター 留学生
グループ)

【参加企業】

あおみ建設(株)、(株)浅沼組、(株)安藤・間、(株)エイト日本技術開発、
(株)大林組、(株)小野工業所、(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル、
鹿島建設(株)、五洋建設(株)、TSUCHIYA(株)、戸田建設(株)、
日本工営(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、三井住友建設(株)、
八千代エンジニアリング(株)、米盛建設(株)

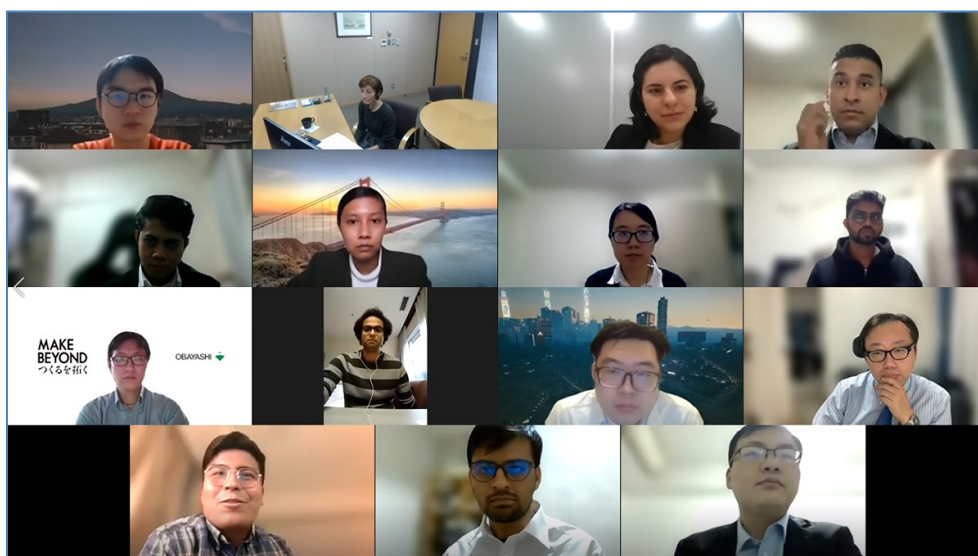
本説明会は「Opening Session」、「Company Sessions (企業セッション) & “Senpai” Sessions (先輩セッション)」の2部構成として実施した。第1部の「Opening Session」では、冒頭に本説明会の趣旨を説明し、その次に日本のゼネラル・コントラクター、コンサルタント企業で活躍する黄 再弘 氏 ((株)大林組)、Jonathan Gonzalez 氏 (大日本コンサルタント(株))に「“Senpai’s” Experience in Studying and Working in Japan」と題し、日本の大学での研究活動、就職活動、入社後の業務等を講演いただいた。その後、参加企業による“1分間PR”にて、各社代表者から企業概要や第2部で行う企業セッションの内容を説明いただいた。



黄 再弘 氏((株)大林組)による講演

第2部では14時から17時15分までの間、各参加企業が1コマ20分のWebミーティング形式による「企業セッション」を開催した。企業セッションでは業務内容、海外プロジェクト紹介、採用情報などの情報提供が行われ、参加者は興味がある企業セッションで情報を収集し、積極的に質問を行った。

また企業セッションと並行して、日本企業に就職した元留学生による「先輩セッション」を開催した。黄氏、Gonzalez氏(前述)を含む元留学生のZuo Rongzhi氏((株)川金コアテック)、Amirfarkhan Bin Radzali氏(西松建設(株))、Luisa Santa Spitia氏((株)安藤・間)、Lucas Alves氏(パシフィックコンサルタンツ(株))の6名に協力いただいた。先輩セッションでは日本での就職活動において、いつからどのような準備を行い、必要なスキルを身につけたのか、日本で働く上での挑戦や今後の目標をお話いただき、和やかな雰囲気の中、先輩、後輩の立場を越えて活発な意見交換が行われた。



先輩セッションでのディスカッション

当日は進行上、大きなトラブルもなく、スムーズに運営ができた。参加企業には事前に入念な準備をいただき、日本企業への関心が高い留学生にとって、本説明会は有益な情報交換の機会であったと考える。留学生グループは引き続き日本の土木企業の情報提供を行うとともに、企業に勤める元留学生の先輩と協働し、就職やキャリアパスの考え方について情報提供をいただき、魅力ある機会を創出していきたい。

最後に、この場を借りて本企業説明会に多大なご協力をいただいた講演者、参加企業ならび関係者の皆さまに感謝を申し上げる。

【記：国際センター 留学生グループ 党 紀（埼玉大学）】

上田次期会長とプロジェクト

皆様ご存知のように、上田 多門 教授は、国際センターの発足時より初代センター長として、長い間、当センターの活動を軌道に乗せ、活性化する日々に奔走しました。今もセンターのコアメンバーとして変わらずに“飴と鞭”をもって指導しています。そして、本年度土木学会会長となる上田教授は、目下、会長ミッションの準備を進めています。

上田教授は、このミッションのキーワードに「国際化」を掲げ、日本の土木（人、技術）をグローバルにするために、「研究者」、「技術者」、「プロジェクト」のアプローチにて、活動を展開していきます。「研究者」のアプローチでは、研究者に対する評価の低下が見られる昨今、学术界のグローバル化をはかり復活を目指します。「技術者」のアプローチでは、国内の土木工学分野の規模縮小にともない国際的プレゼンスの低下が避けられない現状を改善するために、若手・中堅技術者を対象とする体験的研修をもって世界で活躍できる“土木技術者力”の向上を図ります。「プロジェクト」では、世界が認め選ぶプロジェクトの創成を目指します。

更にもう一つ、上田教授は大きなミッションを持っております。それは、土木と建築の協働です（2021年11月、二学会間にて活動協力の覚書締結）。人が暮らす街・社会を形成するには、土木と建築は両者の差異を認識すると同時に、夫々の強みを活かす形で協働することは不可欠でしょう。協働により、日本国内外の日本の建設分野の地位低下への対策にもつながります。

今後、このミッションが具体的な形をなしていくことを見ることになるでしょう。当センターは上田教授のミッションを支援していきます。ぜひ皆様の御協力と応援をお願いいたします。



上田 多門
土木学会次期会長

お知らせ

【今後の予定】

◆【YouTube 動画公開】

- ◆第2回 日台技術者座談会「コロナ禍での大学教育の工夫と苦勞」（3月2日開催）
https://youtube.com/playlist?list=PLRALmeewpTqoYqSN_ONsAtEeQa_anLEkh
- ◆2020年度 国際貢献賞 国際活動奨励賞 国際活動協力賞 受賞者 インタビュー動画アーカイブ
<https://youtube.com/playlist?list=PLRALmeewpTqpdD2a5QXxubznmIH2zfcim>
- ◆3rd JSCE Concrete Committee Webinar "Frontiers of Concrete Technology"
(3月9日開催): <https://youtu.be/hwfl7mrs7-I>

- ◆ベトナム語版「海岸工学用語集」が発刊されました！

https://nxbxaydung.com.vn/thuat-ngu-chuyen-nganh-ky-thuat-bien-b10577.html?zarsrc=30&utm_source=zalo&utm_medium=zalo&utm_campaign=zalo

- ◆「海外インフラプロジェクトアーカイブ（JSCE ウェブサイト英語版）」

<http://www.jsce.or.jp/e/archive/>

- 【新規プロジェクト掲載】モルディブ・マレ海岸プロジェクト

<http://www.jsce.or.jp/e/archive/>

- ◆JMOOC「“はじめて”のインフラメンテナンス講座」開講

【前編】: <https://open.netlearning.co.jp/lecture/index.aspx?cid=00035J11>

【後編】: <https://open.netlearning.co.jp/lecture/index.aspx?cid=00036J11>

- ◆「土木広報大賞 2021」受賞活動・作品一覧が発表されました！

<http://koho-taisho.jsce.info/jyusho/2021-2/>

- ◆第9回アジア土木技術国際会議

<https://cecar9.com/>

- ◆月刊 建設物価 2022年4月号に「留学生向け企業説明会」をご紹介いただきました！

・『建設分野における外国人材の活躍⑧「2021年度留学生対象企業説明会」留学生に関する企業アンケート』

https://book.kensetu-navi.com/index.php?main_page=product_info&products_id=8

- ◆The 9th International Conference on Flood Management (ICFM9)

<https://www.icfm9.jp/index.html>

- ◆European Council of Civil Engineers E-Journal

<http://www.ecceengineers.eu/newsletter/Files/ECCE-E-journal-23.pdf?m=1640190118&>

- ◆米国土木学会(ASCE) 関連

・日米合同シンポジウム「インフラ・レジリエンスのための評価・管理・ガバナンス」*シンポジウム録画の視聴可能

<https://www.infrareasil.jp/event/01/>

- ◆第178回論説(2022年3月版) オピニオン

(1) 名古屋大学の国際環境人材育成プログラム

<https://note.com/jsce/n/n5053f77c4f11>

(2) 社会の変化に応じて進化する港湾

<https://note.com/jsce/n/n641acc88e73d>

- ◆「国際センターだより」※JSCE ウェブサイト（日本語版）

http://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac_dayori_2021

◆土木学会誌 2022 年 4 月号 ※JSCE ウェブサイト (英語版)
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>

配信申し込み

「国際センター通信」配信希望者 登録フォーム

- ・日本語版: (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)
- ・英語版: (<http://www.jsce-int.org/node/150>)

英語版 Facebook

直近の国際センターの活動について紹介しています。
(<https://www.facebook.com/JSCE.en>)

【ご意見・ご質問】 JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp 皆様のご意見やコメントをお待ちしております。

